



各 位

平成 27 年 4 月 24 日

会 社 名 日 本 電 子 材 料 株 式 会 社
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 風 間 悦 男
(コード番号 6855 東証1部)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 門 統 括 部 長 足 立 安 孝
電 話 0 6 (6 4 8 2) 2 0 0 7

業績予想および期末配当予想の修正 ならびに繰延税金資産の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ平成 26 年 11 月 7 日に公表した業績予想ならびに配当予想の修正をいたしましたのでお知らせいたします。また繰延税金資産を下記の通り計上する見込みとなりましたので、合わせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,890	660	730	580	54.77
今回修正予想 (B)	12,190	730	860	820	77.44
増減額 (B - A)	1,300	70	130	240	
増減率 (%)	11.9	10.6	17.8	41.4	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	9,799	183	214	93	8.84

(2) 修正の理由

当社グループの主たる事業分野である半導体市場は、ハイエンドスマートフォンの販売が好調に推移したことや、ミドルレンジやローエンドのスマートフォンも新興国を中心に市場拡大が進んだことを背景に、半導体メーカーの設備投資が進展する等、メモリー I C を中心に回復傾向となりました。

このような事業環境の中、当社グループといたしましては、NAND型フラッシュメモリーやDRAM等、スマートフォン用に需要が高まっている半導体向けを中心に販売を強化した結果、売上面につきましては、前回予想を上回る見通しとなりました。利益面につきましても、プロダクトミックス等の影響を受けましたが、売上高増加による収益の回復に加え、円安の追い風や、繰延税金資産の回収可能性見直しに伴う法人税等調整額の計上(詳細後述)等により、前回予想を上回る見通しとなりました。

注) 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 配当予想の修正理由

(1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (平成26年5月12日)	—	4円	8円
今回修正予想	—	7円	11円
当期実績	4円	—	—
(ご参考) 前期実績(平成26年3月期)	4円	4円	8円

(2) 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題として認識しており、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当の継続を基本とし、業績に応じて積極的な株主還元を行うことを基本方針としています。

このような基本方針に基づき、平成27年3月期の1株当たり期末配当予想を7円に修正いたします。

なお、本件は平成27年6月25日開催予定の第56回定時株主総会でのご承認を経て正式決定となります。

3. 繰延税金資産の計上について

平成27年3月期および今後の業績動向を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収可能性が見込まれる部分について繰延税金資産を計上する見込みとなりました。

これにより、法人税等調整額を連結にて(△は利益)△65百万円を計上する見込みであります。

以上